

# ブルーマウンテンズ市派遣生 報告書

大阪教育大学附属高等学校池田校舎 1年 西田 優里

私は2018年7月25日から8月8日までの2週間親善大使としてオーストラリアのブルーマウンテンズ市に訪問させていただきました。

## 1.ブルーマウンテンズ市について

ブルーマウンテンズ市は昭和63年8月30日に三田市との姉妹都市に調印しました。毎年親善大使として2人ずつ派遣しています。

ブルーマウンテンズ市はシドニーの西にあり、車で1時間ほどです。冬だったので朝晩は冷えますが、昼間は暖かくとてもすごしやすかったです。



スリーシスターズなどの観光地があります。

カトウンバ部族の美しい3姉妹が、ネピアン部族の3兄弟を慕っていたが、他部族との結婚は認められず、部族間の争いとなり、3姉妹の父親が娘達を守るために岩の姿にした。という伝説をホストマザーに教えてもらいました。

## 2,ホストファミリーについて

ホストファミリーはとても明るい5人家族でした。両親と高校3年生の Jai、高校1年生の Joel、中学1年生の Holly で私は Joel と一緒に授業を受けました。また放課後には家の前でサッカーやキックボードに乗ったりして遊びました。近くの家の子供たちが集まって体を動かしていました。目の前が国立公園なのでその中でもあそびました。この写真は岩がせり出している部分があったので皆で撮りました。下が10メートルくらい深かったので怖かったです。



国立公園の中にあるので、自然が身近に感じられるとても良い所でした。



### 3,学校について

私はブラックランド高校に通わせていただきました。1200人ほどの生徒が通っているようで、たくさんの教室が並んでいます。学校は朝9時から3時半頃までで、水曜日は午後の授業がスポーツになって2時過ぎに終わります。Joelはミックススポーツを選んでいたので、公園でボールを投げながら話したり動画を撮って遊びました。また、大学のように自分の選択した授業に参加します。そのため高校生の間から将来についてしっかり考えている生徒が多かったです。

全体的に日本より自由だと感じました。授業中に水を飲んだりお菓子を食べている人もいました。もしも授業中に喉が渇いても日本の多くの学校では飲むことが出来ません。でも授業に集中できないよりは良いと思いました。板書をノートに丸写しする授業もありましたが、多くはポイントだけ書いたりプリントを使う授業でした。答えを求めるための過程を大切にする授業だったと思います。また教科書もなく学校が貸したり、YouTubeをみました。私は中学生だった時7キログラムほどの荷物を背負って歩いていたので良いなと思いました。



また他学年との交流が盛んだと感じました。週に2日30分くらい他学年のペアと問題を解きます。オーストラリアの高校は日本の中学生と高校生の年齢の生徒がいるので3歳差のペアを組んで上級生が下級生に教えながら問題を進めていきます。この時間のおかげですれちがった時に挨拶したりと交流が盛んになっていました。



## 4.観光について

たくさん観光に連れて行ってもらいオーストラリアやブルーマウンテンズ市のことについて知ることができました。

7月28日

初めての休日だったので、動物園に連れて行ってもらいました。

日本では考えられないほど広い土地にカンガルーと羊が放牧されていました。

羊飼いの犬のショーや羊の毛刈りなども見ることができました。

また私が最も楽しみにしていたコアラもいて触りました。



7月29日

シドニーに連れて行ってもらいました。

**The Rocks** というマーケットやハーバーブリッジ、オペラハウスを見て、フェリーでマンリービーチに行きました。

マーケットではオーストラリアの名産品が見られました。

ハーバーブリッジは私が最も気に入った場所です。すごく大きくてうつくしかったです。





8月4日

ブッシュバッシングという森の中を車で走る体験をさせてもらいました。野生のカンガルーや山の上からの絶景が見られてよかったです。



## 5.副市長表敬訪問について

7月31日副市長の表敬訪問を行いました。あたたかい笑顔で出迎えてくださりうれしかったです。プレゼントとして2冊のブルーマウンテンズ市の自然に関する本をいただきました。これを読んでもっとブルーマウンテンズ市のことについて知りたいと思います。

## 6.最後に

初めは自分の英語が伝わらないこともありましたが、でも皆が理解しようと努力してくれていたのが、自信を持って話すことが出来るようになりました。

今回の派遣ではわからないことや困ってしまうこともたくさんありましたが、もう一人の派遣生の児玉さんやホストファミリーなどたくさんの方に助けていただいて、こんなに素晴らしいものになりました。絶対に自分の身についたことは多いので、それを三田市に活かしていけるように頑張りたいと思っています。

助けて下さった皆さん、本当にありがとうございました。